大阪府立大学　植物工場研究センター　(2020. 10. 9)

「スマートグリーンハウスの指導者育成研修2020」

カリキュラム

カリキュラム

No.	日程	テーマ	時間	講義名	講師
1	10月2日（金）	スマートグリーンハウスへの展開	10：30～11：30	・スマートグリーンハウスへの展開に向けた取組について	大山 克己（大阪府立大学）
			13：00～14：00	・スマートグリーンハウスへの展開に関する制度とその動向	角張 徹（農林水産省）
			14：30～15：30	・スマートグリーンハウスの実際	大山 寛 （サンファーム・オオヤマ㈲）
2	10月21日（水）	経営にかかわる知識	10：30～11：30	・野菜の流通と販売	昌谷 公彦（大阪堺植物工場㈱）
			13：00～14：00	・大規模施設園芸における組織づくりと人的資源管理	田口 光弘（農研機構）
			14：30～15：30	・野菜のブランド化と高付加価値化	松尾 崇史 （㈱タカヒコアグロビジネス）
3	11月13日（金）	スマートグリーンハウスでのICT技術（三重県農業研究所）	13：30～14：00	・ICT技術の基礎と応用（講演）	大山 克己（大阪府立大学）
			14：00～15：30	・ICT技術の基礎と応用（実習）	大山 克己（大阪府立大学） 磯山 陽介（三重県農業研究所）
4	11月25日（水）	設備にかかわる知識	10：30～11：30	・温室の熱収支	渋谷 俊夫（大阪府立大学）
			13：00～14：00	・空気調和の基礎	
			14：30～15：30	・環境制御技術・設備の基礎	磯山 陽介（三重県農業研究所）
5	12月9日（水）	栽培にかかわる知識	10：30～11：30	・単肥配合で作る培養液の基礎	和田 光生（大阪府立大学）
			13：00～14：00	・植物生理と栽培技術	安 東赫　（農研機構）
			14：30～15：30	・病虫害の防除技術	金子 修治 （地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所）
6	1月15日（金）	都市近郊における生産現場の実際	12：30～17：30	・高品質果菜類の生産 キノシタファーム 視察	木下 健司 （キノシタファーム）
				・都市型軟弱野菜の生産 しものファーム 視察	霜野 要規 （㈱しものファーム）

大山　克己

大阪府立大学大学院
人間社会科学研究科 教授

テーマ：スマートグリーンハウスへの展開

講義名：スマートグリーンハウスへの展開に向けた取組について

概要

近年、生産性を向上させるためには、作物生産だけではなく、選果・出荷、物流、販売も幅広く視野に入れるとともに、それぞれを考慮した経営全体の最適化を図る必要がでてきている。本講義では、その概要を紹介する。

角張　徹

農林水産省 生産局園芸作物課
花き産業・施設園芸振興室
課長補佐

テーマ：スマートグリーンハウスへの展開

講義名：スマートグリーンハウスへの展開に関する制度とその動向

概要

農地に施設を整備する際の規制（農地法、農業振興地域法、都市計画法等）、建築物を整備する際の規制（建築基準法等）の概要について解説する。また、農水省における補助事業等の施策等についても併せて紹介する。

講師紹介

大山　寛

サンファーム・オオヤマ有限会社
取締役

テーマ：スマートグリーンハウスへの展開

講義名：スマートグリーンハウスの実際

概要

50年間のトマト栽培の経験から現在までの取組み、そして、高軒高ハウスの開発や土耕による長期多段どり栽培の実証の経過。2011年より導入した環境制御装置の有効性やデータ読み取り生産性の向上や省力化。そして、1ヘクタール規模の施設経営など。生産部会を挙げての担い手の育成（トレーナー制度）農業者から見えてくる施設園芸の課題と方向を探る。

昌谷　公彦

大阪堺植物工場株式会社
営業部 部長

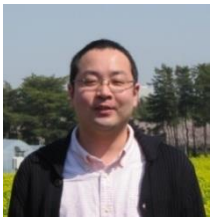
テーマ：経営にかかわる知識

講義名：野菜の流通と販売

概要

植物工場での生産は、レタス類が中心であるが、安定生産・安定出荷・低菌数などをキーワードに最近では、ハーブ類やベビーリーフなどの生産も見受けらえる様になった背景を考える。又、実務として日頃実施している小売店バイヤーとの交渉に必要な商品コンセプトや生産品の選定などを紹介します。

田口　光弘



農研機構　農業経営戦略部　兼務
スマート農業実証事業推進室
上級研究員

テーマ：経営にかかわる知識

講義名：大規模施設園芸における
組織づくりと人的資源管理

概要

本講義では、次世代施設園芸拠点や各地の法人経営を対象に実施した聞き取り調査などをもとに、組織づくりと人的資源管理に関する具体的取組と、従業員満足度が高い取組内容についてお話しします。

松尾　崇史

株式会社タカヒコアグロビジネス
愛彩ファーム九重
専務取締役

テーマ：経営にかかわる知識

講義名：野菜のブランド化と
高付加価値化

概要

農業経営の実態を事例として：高収量（栽培技術）＝高収益だけではない、変化するニーズに合った農産物の販売戦略について。

渋谷　俊夫

大阪府立大学大学院
生命環境科学研究科　准教授

テーマ：設備にかかわる知識

講義名：①温室の熱収支
②空気調和の基礎

概要

本セミナーでは，温室の熱収支について，いくつかの簡単な演習を交えながら分かりやすく解説します．さらに，熱収支にもとづいて空気調和を適切に行うための基本的な考え方や具体的方法について解説します．

磯山　陽介

三重県農業研究所 野菜園芸研究課
主査研究員

テーマ：設備にかかわる知識

講義名：環境制御技術・設備の基礎

概要

太陽光利用型植物工場である植物工場三重実証拠点における環境制御の取組状況について説明するとともに、環境制御を実践する経営体に対して、温室内気温やCO_2濃度偏差の把握・改善などの支援内容について紹介する。

大山　克己

大阪府立大学大学院
人間社会科学研究科 教授

テーマ：スマートグリーンハウスでの
ICT技術

講義名：ICT技術の基礎と応用
（講演・実習）

概要

本講義および実習では、現在、スマート農業にかんする実証事業で利用されている装置やアプリを紹介する。その後、受講者に装置やアプリを実際の圃場において実際に利用し、その意義や導入効果を体験していただく。

和田　光生

大阪府立大学大学院
生命環境科学研究科　講師

テーマ：栽培にかかわる知識

講義名：単肥配合で作る培養液の基礎

概要

養液栽培における培養液管理について、知っておかないといけない基礎知識を講述するとともに、実際の調整方法について実用技術を中心に説明する。

講師紹介

安　東赫

農研機構 野菜花き研究部門
上級研究員

テーマ：栽培にかかわる知識

講義名：植物生理と栽培技術

概要

果菜類の施設栽培において物質生産の観点から適切な環境制御や栽培管理を考える．収量構成要素に着目した生産性向上のために必要な管理手法について解説し，スマートグリーンハウスにおけるデータおよび植物生理に基づいた賢い栽培技術について紹介する。

金子　修治

地方独立行政法人
大阪府立環境農林水産総合研究所

テーマ：栽培にかかわる知識

講義名：病虫害の防除技術

概要

植物工場で発生しやすい病害虫の種類やその基本的な生態を解説する。また、害虫発生と被害を防ぐための防除対策について紹介する。

木下　健司

キノシタファーム
代表

テーマ：都市近郊における生産現場の実際

講義名：高品質果菜類の生産
キノシタファーム 視察

概要

岸和田市、和泉市に約5500㎡のミニトマトを生産、販売。
バッグ栽培という特殊な栽培方法にて年間出荷可能に。
通年出荷と年間糖度安定の高品質での栽培を武器に有利販売を行う。ミニトマトも「アマメイド」というブランド化も実施。
大阪唯一のミニトマトブランドと観光農園事業も展開予定。

霜野　要規

株式会社しものファーム
代表取締役

テーマ：都市近郊における生産現場の実際

講義名：都市型軟弱野菜の生産
しものファーム 視察

概要

小松菜　ホーレンソウ　しゅんぎくを生産できる大型連棟ハウスの内部見学を実体験し、生産管理や栽培管理、品質管理に関してより深く学習できる機会を提供することを目的とする。

注）本年度のカリキュラムは、新型コロナウイルス感染症に対する本学の方針によって、一部、WEB形式への変更や中止となる場合もあります。

＜No.1、2、4、5の研修＞

定　　員：　各回30名
参 加 費：　1講義　3,000円（税込み）
※ 2講義受講の場合は6,000円（税込み）、3講義受講の場合は9,000円（税込み）
※コンソーシアム法人会員は3,000円 3回（年）、個人会員は3,000円（年） 1回を限度に無料クーポンを使用頂けます。
会　　場：　大阪府立大学　中百舌鳥キャンパス C21棟2階 植物工場研究センターB棟

＜No.3の研修＞

定　　員：　~~20名~~　12名（定員になり次第締切）
※感染症拡大防止のため、募集人数が変更になりました。
参 加 費：　無料
会　　場：　三重県農業研究所　（三重県松阪市嬉野川北町530）

＜No.6の研修＞

定　　員：　10名（定員になり次第締切）
参 加 費：　10,000円（税込み）
集合・解散：　大阪府立大学　中百舌鳥キャンパス C20棟 植物工場研究センターA棟会議室
マイクロバスで移動

お問い合わせ

大阪府立大学　研究推進機構　植物工場研究センター　事務局
E-mail：plant@21c.osakafu-u.ac.jp

申込方法

植物工場研究センターホームページ＞イベント情報より
《URL：　http://www.plant-factory.osakafu-u.ac.jp/》